

5 子どもの学習、教育環境

1 温かな承認と励まし

0歳児の保護者は、生活困難層を含めてほとんどの世帯で、毎日子どもとスキンシップによる温かなふれあいをしている。

5歳児では、毎日温かな承認と励ましを行なっている保護者は、生活困難層では5.2割、中間層・非該当層では6.5割以上であった。生活困難層の世帯類型別では、両親同居世帯の割合が最も低く4.6割で、6.25～6.3割の多世代同居世帯・ひとり親（母親のみ）世帯とは開きがあった。

0歳児の「A 子どもを抱くなど、身体的なあたたかいふれあいをする」について、「毎日ある」と回答した人は、生活困難層97.4%・中間層98.6%・非該当層97.9%であり、ほとんどの家庭であった。（図表5-1-1-1）

5歳児の「A 子どもと身体的なふれあいをしながら、認めたり励ましたりする」という設問について、「毎日ある」と答えた人に着目すると、生活困難層の割合が低かった（-12.4%～-15.3%；生活困難層52.6%・中間層65.0%・非該当層67.9%）。（図表5-1-2-1）

なお、5歳児について、生活困難層の世帯類型別（ひとり親（父親のみ）世帯n=1を除く）に「毎日ある」と回答した割合を比較すると、両親同居世帯46.3%が最も低かった（-16.2%～-16.7%；多世代同居世帯63%・ひとり親（母親のみ）世帯62.5%・両親同居世帯46.3%）。（図表5-1-2-7）

生活困難層のひとり親（母親のみ）世帯は62.5%で割合は高く、また、非該当層のひとり親（母親のみ）世帯も62.4%と高かった。（図表5-1-2-7）

5歳児において「身体的なふれあい」を伴う承認、励ましは、子どもの葛藤体験や頑張って取り組む姿勢への保護者の関心・理解の表れであり、また、子どもが意欲的に活動する中での葛藤体験や挑戦して達成する体験の機会が日常的にあるかどうかということを示唆するものでもあろう。

日本財団（2018）は、貧困状態にあっても学力の高い子どもの特徴について分析し、その1つとして「成功体験」との関連を明らかにしている。成功体験は、小学校低学年時点（7～9歳）から大きな差がついており、年齢が上がったとしてもその差が縮まることはないという。さらに、貧困世帯の間でも差が大きく、さらには小学校入学以前で格差が生じている可能性があるとする。低学年時点で成功体験を向上させる事によって、後年の学力を高められる可能性があることが示唆される、と結論づけている。

Elizabeth A. Gundersonら（2013）は、1歳から3歳の子どもの努力を賞賛することが5年後（7～8歳の）子どもが自分ではできる、よくなれるという成長の心の枠組みをもつことにつながることを明らかにしている。ただし、子どもたちの固有の能力を賞賛することは、固定能力の枠組みをもつことを促進してしまうことも示している。

また、仲道（2013）によれば、養育態度として何でも許容すればよいということではなく、応答性ととも統制とバランスのとれた態度によって子どもの自己抑制の力を育むことができることが示されている。つまり、承認・励ましによって、子どもが人間は成長するという成長の心の枠組みを育み、もっと頑張れば、もっとよくなれるだろうという感覚、自分ではできるんだという感覚を身につけることにつながるようにするためには、子どもの「なに」を「どう」認め励ますのかも大切である。

以上のことを踏まえて、まず、保護者に対して、子どもの努力と熱心を励ます働きかけの重要性を伝えることを心がけなくてはならない。特に保育所や幼稚園は、すべての子ども・保護者に働きかけることができる場である。また地域の協力を得ながら、様々な視点からその子どもの成長が求めている事柄を理解した働きかけ、仲間との協同的な活動の中でこそ体験できる葛藤や達成感、長期何かに熱中し乗り越えるような体験の機会などが保証できるはずである。

2 人への信頼の獲得、言葉の獲得を助ける働きかけ

0歳児の保護者は、生活困難層世帯も含めて96%以上の家庭で、子どもの気持ちを汲みながら、それを言葉で表現しようとしていることがわかった。

5歳児では、毎日、子どもの気持ちを言葉で表す保護者は、生活困難層では5割以下、中間層・非該当層では5.5割以上であった。生活困難層では、多世代同居世帯・ひとり親（母親のみ）世帯の方が働きかけが多く、両親同居世帯は少なかった。

0歳児の「B 子どもの気持ちを言葉にする」について、「毎日ある」と回答した人は、生活困難層96.5%・中間層96.1%・非該当層96.7%であり、ほとんどの家庭であった。（図表5-1-1-2）

5歳児の「B 子どもの気持ちを言葉にする」について、「毎日ある」と回答した人は、生活困難層が少ない割合であった。（-8.3～-8.9%；生活困難層48.2%・中間層56.5%・非該当層57.1%）。（図表5-1-2-2）

生活困難層の世帯類型別（ひとり親（父親のみ）世帯 n=1 を除く）では、「毎日ある」と回答した人は、ひとり親（母親のみ）世帯の割合が若干高く52.5%（生活困難層から+4.3%）、両親同居世帯が最も低かった（-7.1%～-7.7%；多世代同居世帯51.9%・ひとり親（母親のみ）世帯52.5%・両親同居世帯44.8%）。（図5-1-2-7）なお、非該当層のひとり親（母親のみ）は46.8%と低かった。（図5-1-2-7）

今井(1996)によれば、0歳児は特定のおとなの話しかけや肌のぬくもりの中で、快い感情にひたり、甘えたり訴えたいと思う気持ちを高めていく中で、感情を共にし、その人を好きになり、子どもは安心感を得て、周囲へと関心を広げていく。また同時に、言葉を獲得していく。

5歳児にとっても、大人が子どもの気持ちを言葉にすることは、子どもの言葉の獲得にとって大切な役割を果たす。子どもの語彙は限られているが、それでも知っている言葉の表現で事足りてしまうことが多いため、大人の働きかけが重要になる。

無藤(2011)によれば、大人は、子どもの言葉を受け止めながら、必要に応じて子どもの言葉を補ったり言い換えたりすることが必要である。子どもは、自分が思い描き言葉で表現しようとしている情景を、より端的に表現する洗練された言葉と出会うことができる。表現したい内容がすでに頭にあってそこに言葉が与えられるため、非常に効率よく言葉を獲得することにつながるという。

ダナ・サスキンド(2018)は、言葉のスキルは、自己制御において、大きな役割を果たすことを指摘している。

3 人への関心・人と関わる意欲と、豊かな言葉の刺激・子どもが話す機会を増やす働きかけ

0歳児の家庭では、生活困難層を含めてほとんどの家庭（9.8割）が、子どもに顔で話しかけたり歌いかけたりしている。

5歳児の調査結果からは、毎日、子どもの語りかけにじっくり耳を傾けて応じている人は、生活困難層は4.4割、他の層は5.6割程度であった。生活困難層では、多世代同居世帯・ひとり親（母親のみ）世帯の方が働きかけが多く、両親同居世帯は少なかった。

0歳児「C 子どもに明るく話しかけたり、歌いかけたりする」について、「毎日ある」と回答した人は、生活困難層98.3%、中間層98.2%、非該当層97.6%であり、ほとんどの家庭であった。（図表5-1-1-3）

5歳児「C 子どもの語りかけに、じっくり耳を傾けて応じる」について、「毎日ある」と回答した人は、生活困難層が少ない割合であった（-12.5%～-12.7%；生活困難層43.9%・中間層56.4%・非該当層56.6%）。（図表5-1-2-3）

生活困難層でもひとり親（母親のみ）世帯は割合が若干高く50.0%（生活困難層から+6.1%）であった。（図表5-1-2-7）

なお、5歳児について、生活困難層の世帯類型別（ひとり親（父親のみ）世帯 n=1 を除く）に「毎日ある」と回答した人の割合に着目すると、両親同居世帯に特徴があった。両親同居世帯では、毎日じっ

くり耳を傾けて応じる人の割合が低かった（-11.2%～-20.5%；多世代同居世帯 59.3%・ひとり親（母親のみ）世帯 50.0%・両親同居世帯 38.8%）一方で、週に1～2回と回答した人も、両親同居世帯が最も低かった（-9.0%～-12.5%；多世代同居世帯 18.5%・ひとり親（母親のみ）世帯 15.0%・両親同居世帯 6.0%）。（図表 5-1-2-7）

0歳児に対して微笑みかけたり、明るく話しかけたり、歌いかけたりすることは、子どもにとっては大人と一緒に快感情を共にしながら、豊かな言葉の刺激を受け、かかわりたいと思う気持ちをいっそう膨らませるものである。また、「赤ちゃんの脳は、つながりあっている言葉の自然な音の流れを聞くだけで、物事を順序立てて考える枠組みが育ち始め、物事に対する自分の反応を考えて実行すること、つまり、実行機能と自己制御機能の重要な側面の準備になる。」⁽¹⁾（ダナ・サスキンド、2018）

5歳児については、大人が子どもの語りかけにじっくり耳を傾けることは、子どもが大人に話を聞いてもらえるという安心感の中で、子どもが話す機会を増やしていくことにつながる。

日本財団（2018）によると、貧困状態にありながらも学力が高い子どもの特徴の1つに、「思いを伝える力」の高さをあげ、「思いを伝える力」との関係について、小学校低学年時点から年齢が上がるにつれて、高学力層と低学力層との差が大きくなると報告している。

わずかな時間でも、大人がじっくりと耳を傾けるひとときを心がけることが必要である。

4 絵本にふれる機会

0歳児では、毎日、子どもと一緒に絵本を見たり読み聞かせをする人は、4割であった。生活困難層は割合が最も低く、最も高いのは非該当層であった（±8.8%）。

5歳児では、週に1日から2日行くと回答した人が4割程度で最も多かった。生活困難層とりわけ多世代同居世帯とひとり親（母親のみ）世帯は、他の層よりも絵本にふれる機会が少ない。

0歳児「E 子どもと一緒に、絵本を見たり、読み聞かせをする」については、「毎日ある」と答えた人の割合が最も高く（44.5%）、非該当層が最も高く、生活困難層が低く、両者の差は±8.8%であった（生活困難層 38.3%・中間層 40.5%・非該当層 47.1%）。「全くない」と回答した人は12.0%であり、生活困難層が高く、非該当層が低く、両者の差は±8.2%であった（生活困難層 18.3%・中間層 14.4%・非該当層 10.1%）。

（図表 5-1-1-5）

5歳児「D 子どもと一緒に絵本を見たり、読み聞かせをする」という設問では、「週に1日～2日」と回答した人の割合が最も高かった（40.2%）。「毎日ある」と回答した人は、生活困難層が少ない割合であり（-4.8%；生活困難層 15.8%・中間層 15.8%・非該当層 20.6%）、生活困難層のひとり親（母親のみ）世帯はさらに低かった（生活困難層から-5.8%；ひとり親（母親のみ）世帯 10.0%）。また、「全くない」と回答した人は、生活困難層が最も高かった（+7.6%～+8.4%；生活困難層 18.4%・中間層 10.8%・非該当層 10.0%）。（図表 5-1-2-4）

なお、5歳児について、生活困難層の世帯類型別（ひとり親（父親のみ）世帯 n=1 を除く）に比較すると、「毎日ある」と回答した人の割合は、両親同居世帯が最も高く、多世代同居世帯が最も低かった。（±2.6%～±10.5%；多世代同居世帯 7.4%・ひとり親（母親のみ）世帯 10.0%・両親同居世帯 17.9%）。「全くない」と回答した人は、ひとり親（母親のみ）世帯の割合が際立って高かった。（+12.6%～+16.4%；多世代同居 11.1%・ひとり親（母親のみ）世帯 27.5%・両親同居世帯 14.9%）（図表 5-1-2-7）

調査全世界帯で比較すると、多世代同居世帯については、「毎日ある」では、全世界帯中で最も低いのが生活困難層の多世代同居世帯で7.4%であり、最も高いのが中間層の多世代同居世帯24.8%であった。中間層の多世代同居世帯は「全くない」と回答した割合も14.4%と比較的高かった。（図表 5-1-2-7）

絵本は、子どもにとっては、新たな言葉との出会い、書き言葉との出会い、今ここを超える世界との出会いの機会を与えてくれるものである。

さらに、大人と子どもが、ともに1つの世界を見つめて感情を共有することは、重要な意味をもつ。秋田(2009)は、「肌のスキンシップだけではなく、心のふれあいとして、声とまなざしと身体で関わってもら実感を持つことは、安心感や親子の情緒の絆の形成にもつながります。」⁽²⁾という。さらに、佐々木(2006)は、絵本の効果を問うことよりも、絵本を読み合うことによって、「そのとき読みあう二人の間でどのようなことで笑いと驚きが生まれ、あるいは幸せの感情に包まれたかを、反芻し味わうことではないだろうか。そこで問われるべきことは、たった一度しか流れない赤ちゃんの時間について語り合うことであり、親子の間には、これほど豊かで不思議な時間が存在していたのだという事実の確認こそが、意味のあるもの」⁽³⁾と述べている。

5歳児では、文字を拾って読めるようになる子どもが多いため、一緒に絵本を楽しむ必要はないと考える保護者も多いかもしれないが、子どもが物語や絵本の世界に浸れるように、また、一緒にふれあえることを楽しめるように、毎日ほんの少しの時間でもとれるように心がけたいものである。

5 一緒におもちゃで遊ぶ・一緒に調べ物をする・お手伝いをさせる

0歳児の保護者で、毎日子どもとおもちゃで遊ぶ人は約8割で、生活困難層の割合は低かった。5歳児の保護者で、毎日興味を持ったことを一緒に調べる人は2割以下であったが、生活困難層の割合は2割以上で高かった。手伝いについては、週に3日～4日間させている家庭が最も多く、3割7分の割合であった。

生活困難層の5歳児の保護者で一緒に調べる割合が高いのは、ひとり親(母親のみ)世帯・世代同居世帯であり、低いのは両親同居世帯であった。毎日手伝いをさせる割合が最も多いのは、ひとり親(母親のみ)世帯であり、比率が最も低いのは多世代同居世帯であった。

0歳児「D 子どもと一緒に、おもちゃで遊ぶ」では、「毎日ある」と回答した人は、85.7%であった。非該当層世帯が最も高く、生活困難層が低く、両者の差は±5.2%であった(生活困難層 81.7%・中間層 84.1%・非該当層 86.9%)。(図表 5-1-1-4)

5歳児「E 子どもが興味を持ったことを一緒に調べる」で「毎日ある」と回答した人は、生活困難層 22.8%は、中間層 15.3%・非該当層 17.5%より多かった(+5.3%~+7.5%)。生活困難層のひとり親(母親のみ)世帯はより高く 30.0%と突出していた。なお、非該当層のひとり親(母親のみ)世帯では 19.6%であった。(図表 5-1-2-5)

また、5歳児について、生活困難層の世帯類型別(ひとり親(父親のみ)世帯 n=1 を除く)に比較すると、「毎日ある」と回答した人の割合は、両親同居世帯が最も低かった。(-13.2%~-13.6%; 多世代同居世帯 29.6%・ひとり親(母親のみ)世帯 30.0%・両親同居世帯 16.4%)。(図表 5-1-2-7)

なお、5歳児について、調査対象全世帯(生活困難層ひとり親(父親のみ)世帯(n=1)を除く)中で「毎日ある」と回答した人の割合が最も高いのは、生活困難層のひとり親(母親のみ)世帯 30.0%で、最も低いのは非該当層のひとり親(父親のみ)世帯 15.0%であった。(図表 5-1-2-7)

5歳児「F 子どもに家でお手伝いをさせる」で「毎日ある」と回答した人は、生活困難層 32.5%は他の層より多く、最も少なかった非該当層世帯 26.1%と比較して±6.4%の差があった。(図表 5-1-2-6)

なお、生活困難層の世帯類型別(ひとり親(父親のみ)世帯 n=1 を除く)では、「毎日ある」と回答した人は、多世代同居世帯の割合が低かった(-16.5%~-20.2%; 多世代同居世帯 14.8%・ひとり親(母親のみ)世帯 35.0%・両親同居世帯 31.3%)。(図表 5-1-2-7)

また、調査対象全世帯(生活困難層ひとり親(父親のみ)世帯 n=1 を除く)中で、毎日手伝いをさせる割合が最も多いのは、生活困難層のひとり親(母親のみ)世帯 35.0%であった。毎日手伝いをさせる比率が最も低いのは、生活困難層の多世代同居世帯 14.8%で、「全くない」と回答したのが最も多かったのは、非該当層のひとり親(父親のみ)世帯 10.0%だった。(図表 5-1-2-7)

国立青少年教育振興機構青少年教育研究センター（2018）は、就学前に手伝いをするものの多寡と、若年層（20～30代）の自己肯定感、意欲、コミュニケーション力に相関があったとした。また、就学前から中学校までに渡って、「家族で一緒にいることが楽しいと感じたこと」、「家族の一員として役立っていると感じたこと」、「家族からの愛情を感じたこと」は、上記にへこたれない力を加えた4つの力（へこたれない力、自己肯定感、意欲、コミュニケーション力）に相関があったとし、特に「家族の一員として役に立っていると感じたこと」は、他の項目よりも相関が強い傾向が見られたと報告している。結果から、子どもたちに何をいつどれだけ体験させるのかだけでなく、どう体験させるのか、その時、周りの大人は「どのようにかかわるのか」という体験の質（深さ）にも目を向け、子ども達が熱中し、意欲的に取り組める体験を子どもたちの生活環境の中に作り出していくことの重要性を指摘している。

保護者が、子どもと一緒におもちゃで遊んだり調べものをしたりすること、手伝いをさせることが、子どもにとって意味ある体験となるのは、保護者の働きかけによって、子どもが熱中し、興味・関心を広げ、自らの世界を広げていけるかどうかにかかっている。つまり、体験の量が十分に見える場合でも、不足している場合でも、保護者に体験の意味を伝えていく必要がある。

6 まとめ

0歳児のほとんどの保護者が、スキンシップや言葉をかけるなど子どもとかがかかわっており、生活困難層もそのほかの世帯との差は見られなかった。しかし、絵本を通してかかわる機会と一緒におもちゃで遊ぶ機会は少なかった。機会が多かったのは非該当層であった。

5歳児では、温かな承認と励まし、子どもの気持ちをことばにしたり、子どもの語りかけにじっくりと耳を傾けたりする保護者は、生活困難層で低い傾向があった。絵本を通してかかわる機会も生活困難層は少なかった。一方で、子どもが興味を持ったことについて一緒に調べる機会、手伝いをさせる機会は生活困難層が多かった。

ただし、生活困難層の世帯類型間で、結果には差があった。温かな承認と励まし、子どもの気持ちをことばにしたり、子どもの語りかけにじっくりと耳を傾けたりする保護者は、両親同居世帯でいっそう低く、多世代同居世帯・ひとり親（母親のみ）世帯は、非該当層とほぼ変わらない水準であった。

一方で、絵本については、多世代同居世帯・ひとり親（母親のみ）世帯がいっそう低く、両親同居世帯との差があった。一緒に調べる割合、手伝いをさせる割合では、ひとり親（母親のみ）世帯が高かった。

これらの結果から、例えば、生活困難層のひとり親（母親のみ）世帯では、スキンシップ・承認・励まし・一緒に調べる・手伝いをさせるで機会が多いこと、その努力についてよいこととして承認されること、また、加えて、機会の少なかった絵本を通じたかかわりをほんの少しでも提案することによって、保護者が子育てを楽しみと感じ、自信をつけることにつながられると、子どもの発育にとってもよい循環が生まれると考えられる。

引用・参考文献

- (1) ダナ・サスキンド著 掛札逸美訳『3000万語の格差一赤ちゃんの脳をつくる、親と保育者の話しかけ』明石書店、2018、p. 109.
- (2) 秋田喜代美「はじめに」. 秋田喜代美 増田時枝『絵本で子育て 子どもの育ちを見つめる心理学』岩崎書店、2009、p. 3.
- (3) 佐々木宏子『絵本は赤ちゃんから 母子の読み合いがひらく世界』、新曜社、2006、はじめに p. iii.

ダナ・サスキンド著 掛札逸美訳『3000万語の格差一赤ちゃんの脳をつくる、親と保育者の話しかけ』明石書店、2018.

Elizabeth A. Gunderson. Sarah J Gripshover. Carissa Romero, Carol S. Dweck, Susan Goldin-Meadow, and Susan C. Levine. Parent Praise to 1-3 year-Olds Predicts Children's Motivational Frameworks 5 Years Later. *Child Development*. 2013 Sep; 84 (5): 1526-1541

今井和子『子どもとことばの世界』ミネルヴァ書房, 1996.

国立青少年教育振興機構青少年教育研究センター『子供の頃の体験がはぐくむ力とその成果に関する調査研究 報告書』, 2018.

無藤隆『保育の学校 第2巻 5領域編』フレーベル館, 2011.

日本財団『家庭の経済格差と子どもの認知能力・非認知能力格差の関係分析-2.5万人のビッグデータから見えてきたもの-』, 2018.

仲道圭人「父親・母親の養育態度が幼児の自己制御に及ぼす影響」静岡大学教育学部研究報告（人文・社会・自然科学篇）第63号, 2013, pp.109-121.

あなたのご家庭では、お子さんと次のようなことをすることができますか。

(0歳児保護者) (5歳児保護者)

図表5-1-1-1 家庭内で子どもとすること（0歳児）

A 子どもを抱くなど、身体的なあたたかいふれあいをする

単位	上段：世帯 下段：%	調査数	毎日ある	週に 3日～4日	週に 1日～2日	全くない	無回答
全体		1,520 100.0	1,491 98.1	9 0.6	4 0.3	3 0.2	13 0.9
生活 困難 層別	生活困難層	115 100.0	112 97.4	-	-	2 1.7	1 0.9
	中間層	439 100.0	433 98.6	2 0.5	-	1 0.2	3 0.7
	非該当層	966 100.0	946 97.9	7 0.7	4 0.4	-	9 0.9
世帯 累計 別	ひとり親(母親のみ) 世帯の生活困難層	16 100.0	16 100.0	-	-	-	-
	ひとり親(母親のみ) 世帯の非生活困難層	25 100.0	23 92.0	1 4.0	1 4.0	-	-
	その他の世帯	1,479 100.0	1,452 98.2	8 0.5	3 0.2	3 0.2	13 0.9

図表5-1-1-2 家庭内で子どもとすること（0歳児）

B 子どもの気持ちを言葉にする

単位	上段：世帯 下段：%	調査数	毎日ある	週に 3日～4日	週に 1日～2日	全くない	無回答
全体		1,520 100.0	1,467 96.5	32 2.1	4 0.3	3 0.2	14 0.9
生活 困難 層別	生活困難層	115 100.0	111 96.5	-	-	2 1.7	2 1.7
	中間層	439 100.0	422 96.1	14 3.2	-	-	3 0.7
	非該当層	966 100.0	934 96.7	18 1.9	4 0.4	1 0.1	9 0.9
世帯 累計 別	ひとり親(母親のみ) 世帯の生活困難層	16 100.0	15 93.8	-	-	1 6.3	-
	ひとり親(母親のみ) 世帯の非生活困難層	25 100.0	21 84.0	3 12.0	1 4.0	-	-
	その他の世帯	1,479 100.0	1,431 96.8	29 2.0	3 0.2	2 0.1	14 0.9

図表 5-1-1-3 家庭内で子どもとすること（0歳児）

C 子どもに微笑みかけたり、明るく話しかけたり、歌いかけたりする

単位	上段：世帯 下段：%	調査数	毎日ある	週に 3日～4日	週に 1日～2日	全くない	無回答
全体		1,520 100.0	1,487 97.8	15 1.0	4 0.3	1 0.1	13 0.9
生活困難層別	生活困難層	115 100.0	113 98.3	- -	- -	1 0.9	1 0.9
	中間層	439 100.0	431 98.2	5 1.1	- -	- -	3 0.7
	非該当層	966 100.0	943 97.6	10 1.0	4 0.4	- -	9 0.9
世帯累計別	ひとり親(母親のみ) 世帯の生活困難層	16 100.0	16 100.0	- -	- -	- -	- -
	ひとり親(母親のみ) 世帯の非生活困難層	25 100.0	23 92.0	1 4.0	1 4.0	- -	- -
	その他の世帯	1,479 100.0	1,448 97.9	14 0.9	3 0.2	1 0.1	13 0.9

図表 5-1-1-4 家庭内で子どもとすること（0歳児）

D 子どもと一緒に、おもちゃで遊ぶ

単位	上段：世帯 下段：%	調査数	毎日ある	週に 3日～4日	週に 1日～2日	全くない	無回答
全体		1,520 100.0	1,302 85.7	114 7.5	42 2.8	42 2.8	20 1.3
生活困難層別	生活困難層	115 100.0	94 81.7	8 7.0	7 6.1	3 2.6	3 2.6
	中間層	439 100.0	369 84.1	42 9.6	12 2.7	12 2.7	4 0.9
	非該当層	966 100.0	839 86.9	64 6.6	23 2.4	27 2.8	13 1.3
世帯累計別	ひとり親(母親のみ) 世帯の生活困難層	16 100.0	14 87.5	1 6.3	1 6.3	- -	- -
	ひとり親(母親のみ) 世帯の非生活困難層	25 100.0	21 84.0	2 8.0	1 4.0	1 4.0	- -
	その他の世帯	1,479 100.0	1,267 85.7	111 7.5	40 2.7	41 2.8	20 1.4

図表 5-1-1-5 家庭内で子どもとすること（0歳児）

E 子どもと一緒に、絵本を見たり、読み聞かせをする

単位	上段：世帯 下段：%	調査数	毎日ある	週に 3日～4日	週に 1日～2日	全くない	無回答
全体		1,520 100.0	677 44.5	303 19.9	335 22.0	182 12.0	23 1.5
生活困難層別	生活困難層	115 100.0	44 38.3	22 19.1	25 21.7	21 18.3	3 2.6
	中間層	439 100.0	178 40.5	101 23.0	92 21.0	63 14.4	5 1.1
	非該当層	966 100.0	455 47.1	180 18.6	218 22.6	98 10.1	15 1.6
世帯累計別	ひとり親(母親のみ) 世帯の生活困難層	16 100.0	5 31.3	4 25.0	4 25.0	3 18.8	- -
	ひとり親(母親のみ) 世帯の非生活困難層	25 100.0	9 36.0	4 16.0	9 36.0	3 12.0	- -
	その他の世帯	1,479 100.0	663 44.8	295 19.9	322 21.8	176 11.9	23 1.6

図表 5-1-2-1 家庭内で子どもとすること（5歳児）

A 子どもと身体的なふれあいをしながら、認めたり励ましたりする

単位	上段：世帯 下段：%	調査数	毎日ある	週に 3日～4日	週に 1日～2日	全くない	無回答
全体		3,077 100.0	2,048 66.6	744 24.2	193 6.3	15 0.5	77 2.5
生活困難層別	生活困難層	114 100.0	60 52.6	43 37.7	8 7.0	2 1.8	1 0.9
	中間層	837 100.0	544 65.0	225 26.9	63 7.5	4 0.5	1 0.1
	非該当層	2,126 100.0	1,444 67.9	476 22.4	122 5.7	9 0.4	75 3.5
世帯累計別	ひとり親(母親のみ) 世帯の生活困難層	40 100.0	25 62.5	11 27.5	3 7.5	1 2.5	- -
	ひとり親(母親のみ) 世帯の非生活困難層	163 100.0	111 68.1	40 24.5	10 6.1	- -	2 1.2
	その他の世帯	2,874 100.0	1,912 66.5	693 24.1	180 6.3	14 0.5	75 2.6

図表 5-1-2-2 家庭内で子どもとすること（5歳児）

B 子どもの気持ちを言葉にする

単位	上段：世帯 下段：%	調査数	毎日ある	週に 3日～4日	週に 1日～2日	全くない	無回答
全体		3,077 100.0	1,741 56.6	973 31.6	240 7.8	23 0.7	100 3.2
生活困難層別	生活困難層	114 100.0	55 48.2	42 36.8	12 10.5	3 2.6	2 1.8
	中間層	837 100.0	473 56.5	285 34.1	65 7.8	5 0.6	9 1.1
	非該当層	2,126 100.0	1,213 57.1	646 30.4	163 7.7	15 0.7	89 4.2
世帯累計別	ひとり親(母親のみ) 世帯の生活困難層	40 100.0	21 52.5	14 35.0	4 10.0	- -	1 2.5
	ひとり親(母親のみ) 世帯の非生活困難層	163 100.0	81 49.7	67 41.1	11 6.7	- -	4 2.5
	その他の世帯	2,874 100.0	1,639 57.0	892 31.0	225 7.8	23 0.8	95 3.3

図表 5-1-2-3 家庭内で子どもとすること（5歳児）

C 子どもの語りかけに、じっくり耳を傾けて応じる

単位	上段：世帯 下段：%	調査数	毎日ある	週に 3日～4日	週に 1日～2日	全くない	無回答
全体		3,077 100.0	1,725 56.1	1,063 34.5	201 6.5	7 0.2	81 2.6
生活困難層別	生活困難層	114 100.0	50 43.9	50 43.9	10 8.8	2 1.8	2 1.8
	中間層	837 100.0	472 56.4	309 36.9	51 6.1	1 0.1	4 0.5
	非該当層	2,126 100.0	1,203 56.6	704 33.1	140 6.6	4 0.2	75 3.5
世帯累計別	ひとり親(母親のみ) 世帯の生活困難層	40 100.0	20 50.0	13 32.5	6 15.0	1 2.5	- -
	ひとり親(母親のみ) 世帯の非生活困難層	163 100.0	89 54.6	59 36.2	11 6.7	- -	4 2.5
	その他の世帯	2,874 100.0	1,616 56.2	991 34.5	184 6.4	6 0.2	77 2.7

図表 5-1-2-4 家庭内で子どもとすること（5歳児）

D 子どもと一緒に絵本を見たり、読み聞かせをする

単位	上段：世帯 下段：%	調査数	毎日ある	週に 3日～4日	週に 1日～2日	全くない	無回答
	全体	3,077 100.0	589 19.1	854 27.8	1,237 40.2	323 10.5	74 2.4
生活 困難 層別	生活困難層	114 100.0	18 15.8	27 23.7	46 40.4	21 18.4	2 1.8
	中間層	837 100.0	132 15.8	239 28.6	375 44.8	90 10.8	1 0.1
	非該当層	2,126 100.0	439 20.6	588 27.7	816 38.4	212 10.0	71 3.3
世帯 累計 別	ひとり親(母親のみ) 世帯の生活困難層	40 100.0	4 10.0	8 20.0	16 40.0	11 27.5	1 2.5
	ひとり親(母親のみ) 世帯の非生活困難層	163 100.0	26 16.0	35 21.5	80 49.1	20 12.3	2 1.2
	その他の世帯	2,874 100.0	559 19.5	811 28.2	1,141 39.7	292 10.2	71 2.5

図表 5-1-2-5 家庭内で子どもとすること（5歳児）

E 子どもが興味を持ったことを一緒に調べる

単位	上段：世帯 下段：%	調査数	毎日ある	週に 3日～4日	週に 1日～2日	全くない	無回答
	全体	3,077 100.0	527 17.1	1,085 35.3	1,227 39.9	153 5.0	85 2.8
生活 困難 層別	生活困難層	114 100.0	26 22.8	41 36.0	37 32.5	7 6.1	3 2.6
	中間層	837 100.0	128 15.3	319 38.1	345 41.2	41 4.9	4 0.5
	非該当層	2,126 100.0	373 17.5	725 34.1	845 39.7	105 4.9	78 3.7
世帯 累計 別	ひとり親(母親のみ) 世帯の生活困難層	40 100.0	12 30.0	15 37.5	9 22.5	2 5.0	2 5.0
	ひとり親(母親のみ) 世帯の非生活困難層	163 100.0	32 19.6	46 28.2	69 42.3	12 7.4	4 2.5
	その他の世帯	2,874 100.0	483 16.8	1,024 35.6	1,149 40.0	139 4.8	79 2.7

図表 5-1-2-6 家庭内で子どもとすること（5歳児）

F 子どもに家でお手伝いをさせる

単位	上段：世帯 下段：%	調査数	毎日ある	週に 3日～4日	週に 1日～2日	全くない	無回答
	全体	3,077 100.0	841 27.3	1,140 37.0	958 31.1	64 2.1	74 2.4
生活 困難 層別	生活困難層	114 100.0	37 32.5	46 40.4	27 23.7	4 3.5	-
	中間層	837 100.0	250 29.9	336 40.1	234 28.0	15 1.8	2 0.2
	非該当層	2,126 100.0	554 26.1	758 35.7	697 32.8	45 2.1	72 3.4
世帯 累計 別	ひとり親(母親のみ) 世帯の生活困難層	40 100.0	14 35.0	16 40.0	9 22.5	1 2.5	-
	ひとり親(母親のみ) 世帯の非生活困難層	163 100.0	36 22.1	64 39.3	56 34.4	4 2.5	3 1.8
	その他の世帯	2,874 100.0	791 27.5	1,060 36.9	893 31.1	59 2.1	71 2.5

図表5-1-2-7 家庭内で子どもとすること（5歳児）

- A 子どもと身体的なふれあいをしながら、認めたり励ましたりする
- B 子どもの気持ちを言葉にする
- C 子どもの語りかけに、じっくり耳を傾けて応じる
- D 子どもと一緒に絵本を見たり、読み聞かせをする
- E 子どもが興味を持ったことを一緒に調べる
- F 子どもに家でお手伝いをさせる

		A	B	C		D		E	F	
		子どもと身体的なふれあいをしながら、認めたり励ましたりする	子どもの気持ちを言葉にする	子どもの語りかけにじっくり耳を傾けて応じる	子どもの語りかけにじっくり耳を傾けて応じる	子どもと一緒に絵本を見たり、読み聞かせをする	子どもが興味を持ったことを一緒に調べる	子どもに家でお手伝いをさせる	毎日ある	全くない
		毎日ある	毎日ある	毎日ある	週に1~2日	毎日ある	全くない	毎日ある	毎日ある	全くない
全体		2,048 66.6	1,741 56.6	1,725 56.1	201 6.5	589 19.1	323 10.5	527 17.1	841 27.3	64 2.1
同居の状態×生活困難層	多世代同居生活困難層世帯	17 63.0	14 51.9	16 59.3	5 18.5	2 7.4	3 11.1	8 29.6	4 14.8	1 3.7
	多世代同居中間層世帯	88 70.4	62 49.6	72 57.6	7 5.6	31 24.8	18 14.4	24 19.2	32 25.6	4 3.2
	多世代同居非該当層世帯	139 66.5	113 54.1	117 56.0	19 9.1	41 19.6	20 9.6	40 19.1	51 24.4	4 1.9
	それ以外の世帯	1,794 66.9	1,543 57.5	1,512 56.4	169 6.3	509 19.0	280 10.4	453 16.9	749 27.9	54 2.0
	無回答	10 30.3	9 27.3	8 24.2	1 3.0	6 18.2	2 6.1	2 6.1	5 15.2	1 3.0
両親との同居×生活困難層	ひとり親(母親のみ)世帯の生活困難層	25 62.5	21 52.5	20 50.0	6 15.0	4 10.0	11 27.5	12 30.0	14 35.0	1 2.5
	ひとり親(母親のみ)世帯の中間層	43 79.6	30 55.6	33 61.1	2 3.7	7 13.0	6 11.1	9 16.7	12 22.2	-
	ひとり親(母親のみ)世帯の非該当層	68 62.4	51 46.8	56 51.4	9 8.3	19 17.4	14 12.8	23 21.1	24 22.0	4 3.7
	ひとり親(父親のみ)世帯の生活困難層	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ひとり親(父親のみ)世帯の中間層	14 56.0	9 36.0	11 44.0	3 12.0	4 16.0	3 12.0	5 20.0	8 32.0	2 8.0
	ひとり親(父親のみ)世帯の非該当層	25 62.5	25 62.5	22 55.0	4 10.0	7 17.5	5 12.5	6 15.0	10 25.0	4 10.0
	両親同居世帯の生活困難層	31 46.3	30 44.8	26 38.8	4 6.0	12 17.9	10 14.9	11 16.4	21 31.3	3 4.5
	両親同居世帯の中間層	480 64.5	428 57.5	421 56.6	46 6.2	120 16.1	78 10.5	112 15.1	228 30.6	12 1.6
	両親同居世帯の非該当層	1,326 69.1	1,113 58.0	1,103 57.5	126 6.6	401 20.9	189 9.9	338 17.6	505 26.3	36 1.9
	両親非同居世帯	26 56.5	25 54.3	25 54.3	-	9 19.6	5 10.9	9 19.6	14 30.4	1 2.2
無回答	10 30.3	9 27.3	8 24.2	1 3.0	6 18.2	2 6.1	2 6.1	5 15.2	1 3.0	